

記者発表資料

省エネ推進・CO₂削減に寄与する技術の研究開発を促進 ～「令和3年度 大学等研究機関とのマッチング」公募手続き（第2回）を開始～

国土交通省では、現場において解決したい課題（ニーズ）に対して、その課題を解決できる新たな技術（シーズ）のマッチングを行っているところです。

マッチングの取組みの1つとして、産学のもつ先端的な技術を積極的に活用し、産学官連携による技術研究開発を促進するため、大学等研究機関が有する課題の解決に資する技術（シーズ）を募集し、技術分野や課題毎に技術研究開発体制の構築を図っております。

令和3年度の大学等研究機関とのマッチングに関する公募（第2回）では、省エネ推進・CO₂削減に寄与する技術（シーズ）など、2テーマを募集し、技術研究開発の促進を図ります。

1. 技術テーマ

- (1) インフラサービスにおける省エネ推進・CO₂削減に寄与する研究
- (2) DX推進による、道路・河川のインフラサービスの高度化・生産性向上に関する研究

2. 応募期間

令和3年9月10日(金)から 令和3年10月15日(金)まで

3. 公募資料（募集要領、応募様式等）

関東地方整備局のホームページよりダウンロードできます。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000222.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部

建設情報・施工高度化技術調整官 にへい まさやす 二瓶 正康（内線:3132） 施工企画課 課長補佐 きくち たかし 菊地 隆（内線:3456）

電話番号:048-600-1347(企画部施工企画課)

◆技術テーマ(1)

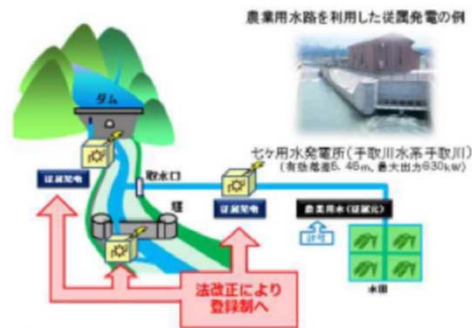
○テーマ名：インフラサービスにおける省エネ推進・CO₂削減に寄与する研究

○研究例：

- ・グリーン社会の実現に向けて、インフラサービスにおける環境負荷低減にかかる技術研究
- ・道路インフラの省エネ化等のため、新たな道路照明技術の開発研究
- ・道路・河川管理に必要な電力の再生エネルギー導入の研究
- ・気候変動リスクの高まりを踏まえ、インフラサービスにおけるCO₂削減に寄与する研究

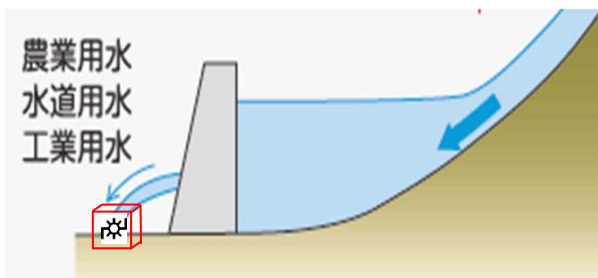
小水力発電等の推進

○ 小水力発電の水利利用について、従属発電の登録制導入、相談窓口設置による小水力発電のプロジェクト形成支援等を実施。



既存ダムの総合的エネルギー利用研究

○ 発電目的ダム以外の既存ダムの放流、貯水容量を利用した発電設備設置に関する研究



既存ダムの貯水容量を有効活用した発電設備

道路を活用した発電技術の研究

○ 道路インフラの電源として道路を活用した発電設備（太陽光、振動等）の技術研究



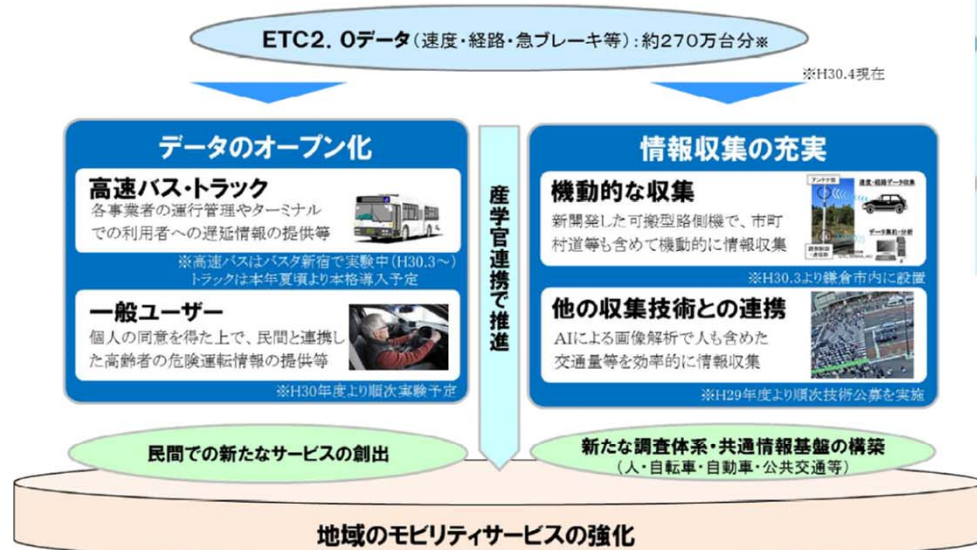
アスファルト面を利用した太陽光、振動発電

◆技術テーマ(2)

○テーマ名:DX推進による、道路・河川のインフラサービスの高度化・生産性向上に関する研究

○研究例:

- ・各種計測データ、画像データ類の利活用による国民の安全安心を実現する道路・河川インフラデータの提供手法の検討
- ・点検データや画像データ等の利活用により、損傷・異常発生箇所や変状の予測、早期発見、早期処理が可能となる手法の検討
- ・データ連携、画像処理技術、センサ技術、遠隔化技術等の活用による生産性向上に寄与する研究



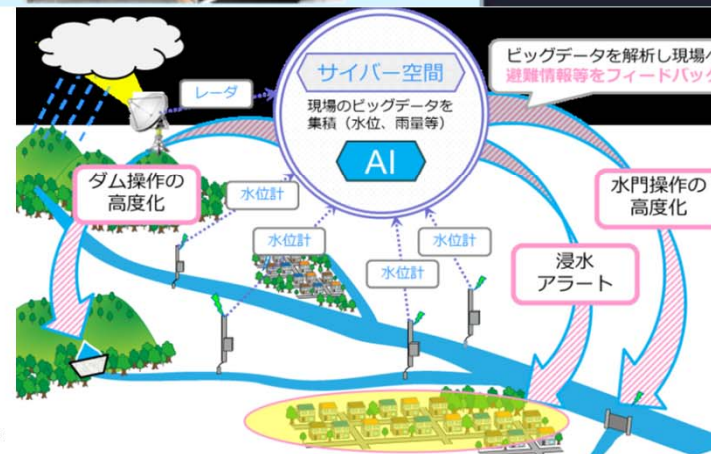
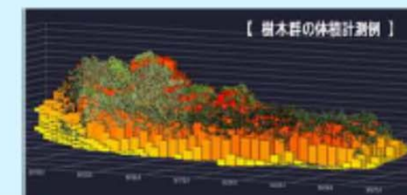
<道路分野>

- ・パトロール車両に搭載したカメラからリアルタイム映像をAI技術により処理し、舗装の損傷判断を効率化



<河川分野>

- ・点群データから、樹木繁茂量や樹高の変化、土砂堆積・侵食量等を定量的に把握



◆ 応募者の資格

大学・高等専門学校等で技術開発・研究に従事する個人・組織。

※ 応募技術の開発に関して参画する「個人」又は「民間企業」、「行政機関等」は自ら応募者になることができないが、「共同開発者」として申請することは可能。

◆ 研究期間

令和3年度から1～3年間（最大で令和5年度まで）。

※委託研究契約は単年度毎に締結。

◆ 採用予定件数

新技術活用評価会議の審議において評価の高かった応募技術の中から4件程度を目安に採用。

※令和3年11月下旬に選定結果を通知予定。

◆ 委託研究費

1件あたりの委託研究費は、各年度500万円以下を想定。

◆ その他

① マッチングイベントの開催

- ・応募技術に対して、関東地方整備局とのマッチングイベントを開催（令和3年10月下旬を予定）。
- ・マッチングイベントでは、応募者が応募技術のプレゼンテーションを実施。

② 研究成果の公表

- ・マッチングが成立し、委託研究契約を締結した応募技術については、関東地方整備局のホームページにて研究成果の概要等の公表を予定。

※詳細については募集要領をご確認ください